

授業科目 臨床栄養学 II

【担当教員名】 永井 徹		対象学年	3	対象学科	健栄
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 臨床栄養学 I で学習した疾患、病態をさらに発展させ、諸疾患に関する十分な知識を修得するとともに、栄養学的見地からの疾患、病態・病期における診断に適切な栄養療法の選択を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 傷病者の病態や栄養状態に基づいた適正な栄養管理を理解する。 2. 栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。 3. 臨床栄養に必要な知識と技術の応用力を身につける。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	代謝疾患 高尿酸血症と痛風の病態と栄養療法			1～3	講義
2	骨粗鬆症の病態と栄養療法			1～3	講義
3	先天性代謝異常 I (アミノ酸、有機酸代謝異常) の治療と予後			1～3	講義
4	先天性代謝異常 II (糖、脂肪代謝異常) の治療と予後			1～3	講義
5	循環器疾患 虚血性心疾患の病態と栄養療法			1～3	講義
6	うっ血性心不全の病態と栄養療法			1～3	講義
7	循環器疾患 呼吸器疾患の病態と栄養療法			1～3	講義
8	腎疾患 糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態と栄養療法 1			1～3	講義
9	腎疾患 糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態と栄養療法 2			1～3	講義
10	急性腎不全の病態と栄養療法			1～3	講義
11	慢性腎不全の病態と栄養療法 I			1～3	講義
12	慢性腎不全の病態と栄養療法 II			1～3	講義
13	その他 臨床栄養学実習 II に必要な知識の学習 I			1～3	講義
14	その他 臨床栄養学実習 II に必要な知識の学習 (入院食事療養費) II			1～3	講義
15	まとめ			1～3	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床栄養学	中村丁次、小松龍史 他	南江堂	2012・3,800円+税
参考書		改訂第3版病態栄養ガイドブック	改訂第3版日本病態栄養学編	メディカルレビュー社	2011・3,500円+税
		改訂今日の病態栄養法	渡辺明治	南光堂	2008・3,200円
その他の資料		病態別プリント			
【評価方法】 出席状況、授業態度、定期試験から評価			【履修上の留意点】		